

2013年2月28日

日本比較文化学会 関東支部
支部長 近藤俊明

日本比較文化学会 関東支部 第34回例会・2012年度総会のご案内

関東支部第34回例会・2012年度総会を下記の通り開催致しますので、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日時：2013年3月9日(土) 14:00～18:00

場所：創価大学国際交流センター 2階 208番教室

(JR八王子駅北口のバスターミナル12番乗り場から「創価大学正門・東京富士美術館」(ひよどり山経由)方面行き(片道300円)で「創価大学正門前」下車。約15分)

I. 例会のプログラム(時間は”予定”です)

1. 開会挨拶 関東支部支部長 近藤俊明(東京未来大学)

2. 研究発表(14:05～16:50)

(1) 広本勝也[慶応義塾大学](14:05～14:55)

論題：「シルヴィア・プラスー—告白詩人の挑発」

(2) 高橋貴之[(株)公務員試験協会](15:00～15:50)

論題：「公的機関の試験が持つ学生への文化的影響
～キャリア教育の観点から～」

(3) 前田 浩[新島学園短期大学](16:00～16:50)

論題：「映画『赤毛のアン』におけるフルネームの使用」

3. 閉会挨拶 関東支部副支部長 野口周一(湘北短期大学)

II. 2012年度関東支部総会(17:00～18:00)

※総会終了後、JR八王子駅近辺にて懇親会を行う予定です。

* 今回の例会では、広本先生が長年研究されてきた詩人シルヴィア・プラスについて発表されます。彼女の生涯は波乱に富んだものであり、先生のご研究の一端を伺えることは極めて有意義であると考えています。

また、高橋先生は経済学で学位を取得され、現在多くの高等教育機関で行われているキャリア教育に焦点を当てて発表されます。このご発表も我々高等教育機関に所属する者として、今後の学生指導に大いに参考になると考えております。

前田先生のご発表は、「赤毛のアン」を取り上げられ、どのような状況でフルネームが使用されるか、その用法を探るご発表です。欧米ではファーストネームでの呼び方が多く見られ、フルネームでの呼び方という点は興味あるものと考えております。

関東支部事務局

鈴井宣行(創価大学) : suzui@soka.ac.jp